

第4次八尾市社会福祉協議会

地域福祉活動計画

だれもが夢を持ち、

みんなで支え合う福祉のまち



令和3年（2021年）9月

社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会

だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまちへ



八尾市社会福祉協議会では、「だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまち」の実現に向けて、行政計画とは別に地域や団体等のきめ細かな活動を計画的に推進すべく独自に活動計画として、「第4次八尾市社会福祉協議会 地域福祉活動計画」を策定いたしました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、会議や打ち合わせが十分にできず、地域や関係団体の皆さまが一堂に会して議論する場を設けることができず、計画期間を延長し意見集約を図ったところです。このような計画変更にご理解くださり、ご協力いただきましたすべての皆さまに感謝申し上げます。

さて、皆さまもご存じのように少子高齢化や核家族化の急激な進展に伴い、地域で支え合う機会が減少し、それぞれが抱える個別の課題に個人として応えられず、課題が積み上げられてきています。社会的孤立状態に陥っている人や8050問題など複合的な課題を抱えている人だけでなく、アンケートの結果からも、「この10年間に地域活動が減り、地域全体の高齢化によって必要とする支援が足りなくなった」という市民の実感が伝わってきます。

そのような時代にこそ、本会は地域福祉を進める中核的な団体として、これからの地域福祉活動のあり方を考え、本市に関わる皆さまとともに地域共生社会を目指すことが求められております。いみじくも新型コロナウイルス感染症は、本会が進めてきた地域の中の「つながり」を妨げてしまいました。これからは、ウイズコロナ・ポストコロナを想定し、人々が寄り添い支え合う活動の再構築が求められる時期です。それは地域住民だけにとどまらず、福祉に関わる専門職もまた支え合うことが含まれています。

誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができるようにするために、公的な福祉サービスの充実だけではなく、地域住民や福祉関係団体、関係機関が協力連携して、それぞれの生き方を支え合う「つながり」のある福祉のまちづくりを進めてまいりますので、これからもご協力くださいますようお願いいたします。

最後に、本計画策定にあたり、アンケートや聞き取り調査にご協力いただきました地域や関係機関の皆さま、また上野山委員長をはじめ策定委員の皆さまに厚くお礼申し上げます。

令和3年9月

八尾市社会福祉協議会会長

竹ノ株 宏美

地域福祉活動計画の策定に寄せて

新型コロナウイルスの感染拡大は、私たちの生活を大きく変えるものとなりました。人と人が交流し、対話することからはじまる地域活動もまた、大きな影響を受けました。これまで地域で活動されてきた方々にとって、活動できない歯がゆさ、辛さを強く感じる時間がつづいたことと思います。それでも現在、多くの人びとがこれまでの活動について



その意義を問い直し、「いまできること」に取り組みはじめていることは、地域がもつ力強さを示しているといえます。

いま、私たちが暮らす地域には、さまざまな価値観(働き方、ライフスタイルなど)をもち、さまざまな境遇(所得、学歴、障がいや疾病の有無、性など)のなかで生きる多様な人びとがいます。これからの地域のあり方を考えたとき、「価値観と境遇の多様性とどのように向き合うか」という視点がかつとも重要になると私は考えています。具体的には、地域に関わるすべての人が、他者の価値観や境遇の多様性を想像できるか、それに起因する生きづらさを想像できるか、そしてその生きづらさに寄り添い、行動することができるか、ということです。そのような想像と行動の輪を地域に広げていくことで、第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画の基本目標である「だれもが夢を持ち、みんなで支え合う福祉のまち」の実現へとつながっていくと考えられます。

この地域福祉活動計画は、地域のさまざまな分野で活躍する委員が対話を重ね、また市民のみなさまからのご意見も踏まえて策定しました。地域に存在する多様な価値観と境遇に寄り添い、さまざまな地域主体になにができるかを示した本計画は、八尾市における地域活動の道しるべとなるはずです。

第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画が、八尾市に関わるすべての人にとっての「わたしの地域福祉活動計画」として、末永く愛されることを願っています。最後になりましたが、計画策定にご協力いただいたみなさまに、心よりの御礼を申し上げます。

令和3年9月

第4次八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員長

上野山 裕士(摂南大学講師)

目次

第1章 はじめに	1
1. 計画策定の背景・趣旨.....	1
2. 八尾市社会福祉協議会における地域福祉推進の経過とこれから	3
3. 計画の位置づけと期間.....	6
4. 計画策定の流れ	7
第2章 計画の基本的な考え方	8
1. 計画がめざすもの.....	8
2. 計画がめざすものの実現に向けて(基本目標)	8
3. 計画の体系.....	11
第3章 取り組みの展開.....	12
基本目標1 身近な地域でつながり、支え合う仕組みづくりの推進	12
1-1 人権と福祉のまちづくりへの意識や関心の啓発・醸成	12
1-2 地域力向上に向けた支援.....	14
1-3 地域における見守り・支え合い.....	17
基本目標2 多様な主体の参加支援と連携の推進	20
2-1 幅広い市民の参加促進.....	20
2-2 地域福祉活動の担い手づくり.....	22
2-3 多様な関係機関・団体との連携	24
基本目標3 身近な地域における支援のためのネットワークづくりの推進	27
3-1 身近な地域で展開する福祉の取り組み	27
3-2 「自分らしく暮らしたい」を支える権利擁護の推進	30
3-3 生活困窮者への支援.....	32
3-4 災害時における支援	34
3-5 包括的な福祉のネットワークの推進	36
第4章 計画の推進、検証・評価	37
1. 本会の基盤強化.....	37
2. 計画の推進体制	39
資料編.....	40
1. 計画の策定経過.....	40
2. 八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会要綱	41
3. 八尾市社会福祉協議会地域福祉活動計画策定委員会委員名簿.....	42
4. 用語解説.....	43